

ポストトレード効率化で 業務改善と 資金効率向上を図る

ポストトレード



課題

オペレーショナル・リスク

従来型システムにおいては取引関係者ごとに取引データが管理されており、データ不一致などによる決済遅延リスクが高い

未決済リスク

約定から決済まで2営業日かかる事に伴い多額の決済用担保が必要

解決策

データ連携基盤を構築

取引関係者で共有される取引データを常に一致させるデータ連携プラットフォームを構築

決済サイクルの短縮

データ突合が不要になる事に伴い決済期間を翌日(T+1)さらには当日(T+0)に短縮

効果

T+0の実現

突合作業を必要としないため、約定と同時に決済を行う事も可能に

資金効率の向上

約定から決済までの期間を短くすることにより、待機資金を大幅に減らすことが可能になる

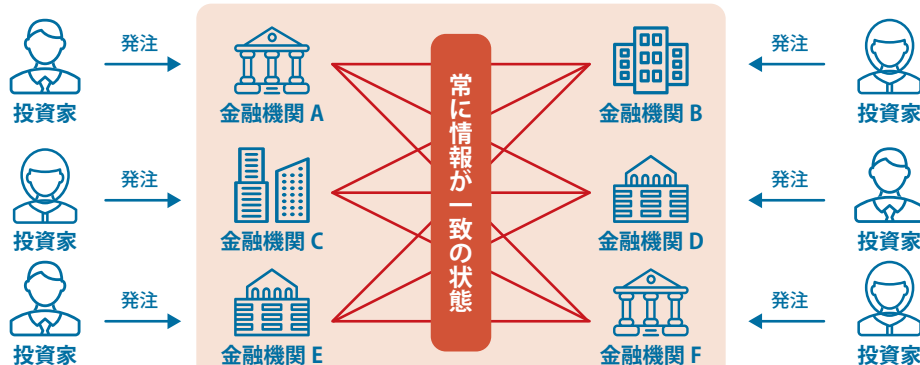
コストの低減

突合作業を始めとするバックオフィス業務が効率化されることにより、業務コストの低減を図ることが可能に

スキーム

ポストトレード効率化でコスト低減と資金効率向上を図る

約定決済情報を自動的に照合



T+0の実現へ